

## 平成26年度事業計画

### <公益財団法人電通育英会の事業目的の確認（定款第3条より）>

公益財団法人電通育英会は、優秀でありながら経済的な理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の貸与・給付及び留学生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供、大学生等を対象とした人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

### <平成26年度事業計画について>

一昨年末以来の円安基調により、当財団の平成26年度経常収益は前年度対比で、約4千万円の増加と見込まれます。この円安傾向がいつまで続くのか、専門家の間でも意見の分かれるところですが、当面は引き続きこのような収益が見込まれる、という想定のもと、昨年から検討をしてきた育英事業の拡充策の一部導入に踏み切ります。

具体的には以下の2つの拡充策を新規導入いたします。

- 1) 大学生への奨学金給付事業に、新しく「入学一時金」を追加導入します。  
但し、適用は26年度募集・予約採用、27年度入学・採用からとなります。
- 2) 当財団の大学給付奨学生及び大学院給付奨学生を対象としたキャリア形成支援の一環として、「海外留学・活動支援」制度を平成26年度から導入します。

平成27年度以降の「大学給付奨学金<震災支援枠>」については、応募者数の増加を図るべく、以下の企画変更をいたします。

- 1) 被災3県における対象高校を3県合計で10校から64校に拡大します。
- 2) 「1高校3名まで」の推薦に変更します。\*従来は「1高校1名」
- 3) 「1・2年生の学業成績の評点平均3.5以上」を応募条件に付加します。

### 1-1. 大学生への奨学金支給事業 <公益事業1>

#### (1) 大学生への奨学金貸与

平成22年度から貸与奨学生の募集・採用を中止した関係で、貸与奨学生については、25年度から6年制の医薬系大学生だけとなっており、26年度の貸与奨学生は6年生のみで、9名となります。貸与奨学金制度もいよいよ最終年度となります。

奨学金貸与：	(26年度予算)	4,320,000円	@48万円×9名
	(25年度予算)	12,000,000円	@48万円×25名

## (2) 成績優秀による奨学金返還免除

平成 27 年 3 月卒業予定の貸与奨学生の中から、成績優秀者およびその他スポーツ・文化領域等において顕著な成績を修めた者を選考し、奨学金の返還免除の特典を与えます。

- ①給付対象：卒業予定の貸与奨学生で成績優秀者等
- ②免除金額：貸与した奨学金全額（卒業時に返還免除）
- ③採用者数：若干名 \*卒業予定者は 9 名
- ④採用方法：選考委員会での書類審査、選考委員による面接を経て理事長が決定。

返還免除費用：	(26年度予算)	8,640,000円
	(25年度予算)	8,640,000円

## (3) <一般枠>大学生への奨学金給付（高校時予約採用）

平成 26 年度の大学進学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成 25 年 6 月に行ない、平成 25 年 7 月の選考委員会で 52 名が内定しました。前年度の一浪生 4 名も含めた 56 名の内定者のうち、平成 26 年 4 月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金の給付を開始します。

26 年度の給付者総数は、23 年度採用の 55 名、24 年度採用の 48 名、25 年度採用の 52 名と合わせて、211 名（想定）となります。

また、平成 26 年度も下記の通り募集・予約選考作業を行います。

- ①給付対象：当財団が指定する公立高等学校の 3 年生で、在学学校長から推薦された者。成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者で、当財団指定大学への入学を条件とする。理工学系、医薬系を除く。
- ②給付金額：月額 50,000 円、期間は大学在学中の最長 4 年間。
- ③予約採用者数：年間 50 名程度。
- ④採用方法：予約採用者は、主要国立大学進学者数ランキング上位の公立高校（全国約 135 校）より各校 1 名推薦された候補者の中から、選考委員会での書類選考、選考委員による面接選考を経て、理事長が決定する。
- ⑤初年度指定大学不合格の場合、次年度の再受験を認める。（所謂「一浪」まで可）

一般大学生給付奨学金： (26年度予算) 126,600,000円 @60万円×211名  
(25年度予算) 120,600,000円 @60万円×201名

#### (4) <芸術枠>大学生への奨学金給付(高校時予約採用)

当財団の特色を出すための制度で、平成23年度入学から奨学金を支給しています。平成26年度の芸術系の大学・学部進学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成25年6月に行ない、平成25年7月の選考委員会で6名が内定しました。前年度の一浪生3名も含めた9名の内定者のうち、平成26年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、奨学金支給を開始します。

26年度の給付者総数は、23年度採用の5名、24年度採用の5名、25年度採用の9名と合わせて、28名(想定)となります。1年生から4年生までが初めて揃います。

また、平成26年度も下記の通り募集・予約選考作業を行います。

- ①給付対象：当財団が指定する公立高校の3年生で、在学学校長から推薦された者。成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者で、当財団指定の芸術系の大学・学部への入学を条件とする。
- ②給付金額：月額50,000円、期間は大学在学中の最長4年間。
- ③予約採用者数：年間10名を限度とする。
- ④採用方法：「(2) <一般枠>大学生への奨学金給付」と同様。
- ⑤初年度指定大学不合格の場合は次年度の再受験を認める。(所謂「一浪」まで可)

芸術系大学生給付奨学金： (26年度予算) 16,800,000円 @60万円×28名  
(25年度予算) 13,800,000円 @60万円×23名

#### (5) <震災支援枠>の大学生への奨学金給付(高校時予約採用)

平成23年3月11日の東日本大震災で被災した者を対象とした奨学金制度です。

平成26年度の大学進学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成25年6月に行ない、平成25年7月の選考委員会で2名が内定しました。当該内定者と前年度浪人1名のうち、平成26年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、新たに入学一時金の支給と奨学金の給付を開始します。

26年度の給付者総数は、24年度採用の3名、25年度採用の3名と合わせて、9名(想定)となります。

[平成26年度以降の募集・予約選考作業について]

平成27年度以降の「大学給付奨学金〈震災支援枠〉」については、応募者数の増加を図るべく、以下の企画変更をいたします。

- 1) 被災3県における対象高校を大幅に増やします。当初の企画では、被災3県におけるランキング上位の公立高校を10校だけ選んで対象としておりましたが、被災者が多数いた沿岸部の高校があまり選ばれていなかったため、応募数が想定よりも少なかったものと思われます。そこで、対象高校を3県合計で64校まで増やすことによって、沿岸部の公立高校も20校以上対象に加えることにいたします。
- 2) 「1 高校 1 名」を、「1 高校 3 名まで」の推薦に変更します。
- 3) 「1・2年生の学業成績の評点平均3.5以上」を応募条件に付加します。

平成 26 年度の募集・予約選考作業は以下の通り行います。

- ①給付対象：当財団が対象とする公立高校 3 年生で、東日本大震災で被災した者、またその影響で困難な生活を送る者。成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者で、当財団指定の大学への入学を条件とする。
- ②給付金額：入学一時金 300,000 円のほか、月額 50,000 円、期間は最長 4 年間。
- ③予約採用者数：募集人数は 15 名程度
- ④採用方法：予約採用者は、岩手県・宮城県・福島県内のランキング上位の公立高校（64 校）の校長から推薦された候補者の中から、選考委員会での書類選考、選考委員による面接選考を経て、理事長が決定する。  
\*応募条件は、1 年生・2 年生の学業成績評定平均 3.5 以上
- ⑤初年度指定大学不合格の場合は次年度の再受験を認める。（所謂「一浪」まで可）  
震災支援枠奨学金： (26年度予算) 6,300,000円 @90万円×3名+@60万円×6名  
(25年度予算) 5,400,000円 @90万円×4名+@60万円×3名

#### (6) 大学給付奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付 <新規>

当財団の大学給付奨学生（一般枠、芸術枠、震災支援枠）で、海外留学・活動を希望する者に対する支援金を給付する制度を新規導入します。

大学生海外留学・活動支援金： (26 年度予算) 7,000,000 円  
(25 年度予算) —

## 1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

平成 25 年度採用から、大学院奨学生の対象を当財団の大学給付奨学生に限定する制度に変更しています。

### (1) 大学院奨学生（学部予約）への奨学金給付

平成 26 年度の大学院進学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成 25 年度に行ない、選考委員会で 5 名を採用内定としました。このうち、平成 26 年 4 月に当財団指定の大学院に進学した者に対し、大学院修士課程 2 年間、月額 8 万円の奨学金給付を開始します。

平成 26 年度の給付者総数は、平成 24 年度採用の 1 名\*、25 年度採用の 9 名と合わせて 15 名（想定）となります。

\*平成 24 年度採用の 1 名に対して、休学・支給停止期間（10 か月）分を 4 月から給付再開します。

また、平成 27 年度の大学院進学予定者について、下記の通り募集・選考を行います。

- ①給付対象： ・当財団の大学給付奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること  
・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者  
・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②給付金額・期間： 月額 80,000 円、給付期間は 2 年以内とする
- ③予約採用者数： 10 名以内
- ④採用方法： 選考委員会での書類審査、選考委員による面接を経て理事長が決定する。

大学院生奨学金：	(26年度予算)	14,240,000円	@96万円×14名+80万円
	(25年度予算)	30,720,000円	@96万円×32名

### (2) 大学院給付奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付 <新規>

当財団の大学院給付奨学生で、海外留学・活動を希望する者に対する支援金を給付する制度を新規導入します。

大学院生海外留学・活動支援金：	(26年度予算)	1,000,000円
	(25年度予算)	—

### (3) 大学院留学生（現地採用）への奨学金給付

平成 22 年度から現地採用方式に切り替えています。中国については、中国教育部の協力を得て当財団の応募条件に合致する博士課程/修士課程留学予定者の推薦を受ける制度です。26 年度の採用については、応募者は中国からの 5 名が 10 月からの給付開始と想定しました。

平成 26 年度の給付者総数は、23 年度採用の 6 名、24 年度採用の 4 名、25 年度採用の 6 名と合わせて 21 名と想定します。

また、平成 26 年度も下記の通り選考作業を行います。

- ①給付対象 : ・日本国内の主要大学院（修士・博士課程）に留学する者  
・原則として社会・人文・情報科学を専攻する者  
・日本語によるコミュニケーションに支障のない者
- ②給付金額・期間 : 月額 160,000 円、給付期間は 3 年以内とする
- ③想定採用人員 : 5 名以内（中国人留学生 5 名）
- ④採用時期 : 10 月からの新規採用
- ⑤採用方法 : 選考委員会での書類審査を経て理事長が決定する。

留学生奨学金 : (26年度予算) 29,760,000円 @192万円×10名+@96万円×11名  
(25年度予算) 26,880,000円 @192万円×11名+@96万円×6名

<参考>今後3年間の奨学生数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
大学貸与奨学生	<b>最終年</b> 医薬系6年生 9名	—	—
大学貸与奨学生対象の 返還免除	<b>最終年</b> 卒業予定 9名 →若干名	—	—
大学給付奨学生（一般） 〈高校予約〉	<b>6年目</b> 1年生～4年生 211名	<b>7年目</b> 1年生～4年生 206名	<b>8年目</b> 1年生～4年生 208名
大学給付奨学生（芸術） 〈高校予約〉	<b>4年目</b> 1年生～4年生 28名	<b>5年目</b> 1年生～4年生 33名	<b>6年目</b> 1年生～4年生 38名
大学給付奨学生（震災支援） 〈高校予約〉	<b>3年目</b> 1年生～3年生 9名	<b>4年目</b> 1年生～4年生 27名	<b>5年目</b> 1年生～4年生 42名
大学院給付奨学生 （学部給付奨学生対象）	<b>2年目</b> 1年生と2年生 15名	<b>3年目</b> 1年生と2年生 15名	<b>4年目</b> 1年生と2年生 20名
大学院給付留学奨学生 （現地予約） * 半期在籍者を含む	<b>5年目</b> 中国 20名 韓国 1名 計 21名	<b>6年目</b> 中国 20名 韓国 0名 計 20名	<b>7年目</b> 中国 21名 韓国 0名 計 21名

## 2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

### (1) 大学奨学生（貸与及び給付）及び大学院奨学生に対する「奨学生の集い」の実施

一昨年まで東京と大阪で行っていた「奨学生の集い」を、平成 26 年度は現役奨学生全員（約 300 名）が一堂に会して、11 月に東京で開催します。

講演：未定

開催日：11 月 22 日（土）

会場：電通ホール

奨学生の集い関連費用： (26年度予算) 9,660,000円  
(25年度予算) 8,900,000円 \*奨学生の交通費含む

### (2) 大学給付奨学生に対するセミナーの実施

大学給付奨学生の 1 年生から 3 年生に対して、研修セミナーへの出席を義務付けています。汎用的スキルの涵養や課題解決力の付与などを目的にグループ討議、プレゼン演習等を行い、次世代人材を育成する一助とします。9 月に 1 泊 2 日の合宿形態で実施します。

1 年生対象：ロジカルコミュニケーション研修

2 年生対象：課題解決力養成研修

3 年生対象：自己分析とキャリアデザイン研修

\* 4 年生については、3 月に開催する「修了生交流会」への全員参加をもって代替します。

大学生セミナー関連費： (26年度予算) 9,450,000円  
(25年度予算) 8,520,000円 \*奨学生の交通費含む

### (3) 大学院奨学生に対するセミナーの実施

大学院奨学生および大学院留学奨学生に対して、セミナーを 1 泊 2 日の合宿形態で実施します。内容は、奨学生の研究発表、各界講師による講演会、グループ討議、交流会で構成します。

大学院生セミナー関連費： (26年度予算) 2,490,000円  
(25年度予算) 3,460,000円 \*奨学生の交通費含む



#### (4) 修了生交流会

卒業予定の大学貸与奨学生のうち「成績優秀による返還免除者」及び大学院修了生に加えて、卒業予定の学部給付奨学生も対象としています。奨学生の修了・卒業後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員、大学関係者など来賓出席のもと、「修了生交流会」を3月に東京品川で開催します。

修了生交流会関連費： (26年度予算) 4,040,000円  
 (25年度予算) 5,000,000円 \*修了生の交通費含む

<参考> 奨学金事業別の平成26年度予算額(概算) 合計：2億3,389万円

	大学生給付	大学院給付	留学生給付	大学生貸与
奨学生数	248名	15名	21名	9名 *返還免除3名
奨学金支給額	1億4,970万円	1,424万円	2,976万円	返還免除864万円
募集・採用関連	466万円	42万円	65万円	18万円
セミナー関連*1	945万円	104万円	145万円	
奨学生の集い*2	818万円	49万円	69万円	30万円
修了生交流会*3	310万円	47万円	31万円	16万円
小計	1億7,509万円	1,666万円	3,286万円	928万円
	@71万円	@111万円	@157万円	@103万円

\*1~\*3 セミナー等の費用は、大学生と大学院生と留学生の参加想定人数で配分

\*平成26年度から導入する留学支援金は含んでいない

\*留学生の人数は、半期在籍者を含む

### 3. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業1>

#### (1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行（年4回）

平成25年度は、23年度/24年度に引き続きシリーズ特集テーマを「自分を育てる学生生活の過ごし方」とし、4月号「学生への経済支援を考える」、7月号「感受性豊かな心と強い精神力の獲得」、1月号「自分を育てるアルバイト」を特集しました。いずれのテーマについても、大学教職員やキャリア教育の研究者へのインタビューと大学生の意見や感想を取材しました。

10月号では、25年8月に京都大学・東京大学と共同開催した『大学生研究フォーラム』を特集しました。

26年度も、大学生のキャリア形成や大学生活を中心に、現場情報を大学生及び大学教職員に対し提供していきます。また「大学を訪ねて」、「先輩！こんにちは」、「アメリカン・キャンパス・ライフ」等の連載企画は継続する予定です。

主要読者層は貸与/給付中の奨学生、奨学金返還中のOBOG、大学関係者（学長室及び学生部）、教育関係者、奨学財団、全国主要図書館、全国の新聞社であり、新たに大学・高校関係者等、配布先を増やしていきます。部数は、「大学生研究フォーラム」参加者等から毎年30名前後の定期送付希望者があるなど増加傾向で、26年度は各号約4,000部を見込みます。

会報誌関連費：	(26年度予算)	25,930,000円
	(25年度予算)	25,200,000円

#### (2) 調査研究

平成26年度は、京都大学（溝上研究室）との共同により25年度に実施した第3回大学生キャリア意識調査のデータ解析等を行います。解析結果は大学生研究フォーラムで報告する他、ホームページで公開し、大学生研究者の幅広い活用を促進します。

平成26年度から、奨学生のキャリア追跡データベースの構築プロジェクトを開始します。大学給付奨学生の第一期生が25年3月に学部卒業となりました。26年3月には第二期生も学部卒業します。学部4年間の学業成績をはじめ、セミナー出席状況などを個人別に整理する一方、卒業生の進路やそこでの活躍の意識と実態などを聴取し、データベース化します。法政大学キャリアデザイン学部の児美川研究室の協力を得て実施していく予定です。

調査関連費：	(26年度予算)	4,920,000円
	(25年度予算)	8,080,000円

### (3) 第7回大学生研究フォーラムの開催

大学生キャリア意識調査の結果など大学生研究成果の情報発信の場として、また大学生研究の課題発見のための場として、毎年「大学生研究フォーラム」を開催しております。

教育学・心理学・青年若者論等の教員・研究者及び高校教諭、学生を対象にシンポジウムの内容を充実させてきました。

平成 26 年度のフォーラムも、京都大学・高等教育研究開発推進センター、東京大学・大学総合教育研究センターとの3者共催で、「激変する大学の入り口と出口」というテーマのもと、基調講演、パネルディスカッション等で構成します。

また、23 年度から開催している「高校教員のためのシンポジウム」も併催いたします。

フォーラムの内容は、IKUEI NEWS 10 月号にて特集し、同時にホームページにも掲載する予定です。

フォーラム関連費： (26年度予算) 7,780,000円

(25年度予算) 8,150,000円

#### 4. 大学生を対象とした人材育成に取り組んでいる非営利組織への資金助成 <公益事業2>

学生を対象とした人材育成を目的として、インターンシップ、ボランティア活動、その他セミナー活動などを行っている大学内組織や民間 NPO 団体を主な対象として、活動計画を広く募集し、選考委員会にて書類選考・面接選考を行った上で、平成 26 年度は、応募総数 43 件から選考された団体による人材育成活動に対して、資金助成をいたします。

100 万円助成、50 万円助成とも、各 5 団体を想定しています。

<選考基準>

大学生等の人材育成効果に加えて①応募団体の過去の活動実績 ②活動の目的・有用性 ③実施計画の妥当性 ④計画遂行力 など、総合的に評価する。

参考<大学内組織、NPO による大学生等のキャリア形成支援活動 (25 年度 採択) >

(助成金額 100 万円) 5 件

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| ・ NPO あそびっこネットワーク    | プレーパークでのボランティア体験      |
| ・ NPO コドモ・ワカモノまち ing | ワカモノ感育学校～里守プロジェクト     |
| ・ 東京学芸大学環境教育研究センター   | 環境教育リーダー養成講座          |
| ・ 藤沢市市民活動推進連絡会       | 学生のボランティア情報提供とマッチング事業 |
| ・ 立教大学コミュニティー福祉学部    | 復興支援を通しての学生の人材育成      |

(助成金額 50 万円) 6 件

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ・ NPO かものはしプロジェクト | 海外の子供を守る活動体験を通しての人材育成  |
| ・ NPO キズキ         | ひきこもり経験者への学習支援を通じた人材育成 |
| ・ 中央大学 チーム次元      | 学生による気仙沼大島での復興支援事業     |
| ・ NPO 勉強レストラン     | 知的障害者支援事業の企画運営を通じた人材育成 |
| ・ リカバリーキャラバン隊     | 精神障害者のリカバリー支援者養成事業     |
| ・ 早稲田大学 WAVOC     | 他者との出会いから育むグローバル人材育成   |

また、27 年度に向けて、下記の通り募集・選考作業を行います。

**募 集:**10月に、若者対象の人材育成活動、キャリア支援活動を行う首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の非営利組織に対して、募集要項を送付。同時にホームページにも募集要項を掲載。1月中旬が応募締切。

**選 考:**2月に、有識者、若者・キャリア・NPO の専門家で構成される選考委員会にて書類審査を行い、その後、活動計画のプレゼンを受けたのち非営利組織が取り組む人材育成活動に対して、100 万円コース 5 件程度、50 万円コース 5 件程度を採択する。

人材育成活動助成事業関連費： (26年度予算) 8,520,000円

(25年度予算) 8,670,000円

平成 26 年度主要行事 年間日程 予定表

	日 程	場 所
第11回理事会（決算）	6月10日(火)11:00～	帝国ホテル 蘭の間
第4回定時評議員会	6月24日(火)11:00～	帝国ホテル 松の間
奨学生選考委員会(全体)	7月11日(金)予定	銀座電通ビル8F会議室
大学生研究フォーラム	7月27日(日)	京都大学 時計台ホール
(併催)高校教諭シンポジウム	7月28日(月)	〃
大学院生 セミナー	8月9日(土)10日(日)	クロスウエーブ幕張
学部生 セミナー	9月13日(土)14日(日)	湘南国際村研修センター
資産運用委員会	10月24日(金)15:00～	電通銀座ビル4F会議室
第12回理事会（資産運用等）	11月21日(金)11:00～	電通銀座ビル8F会議室
奨学生の集い	11月22日(土)	電通ホール
資産運用委員会	平成27年2月20日(金)	電通銀座ビル4F会議室
修了生交流会	平成27年3月14日(土)	品川ストリングスホテル
第13回理事会（予算）	平成27年3月26日(木)予定	帝国ホテル 予定